

2022 年度 一般入試

第 1 回

国 語

[注意事項]

- 1 問題は一から四までです。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにして下さい。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないで下さい。
- 6 考査中はよそ見をせず、きちんとした態度で行って下さい。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげて下さい。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないで下さい。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日直さんの号令でさようならをして、帰りの会が終わる。

放課後の空気は、授業中とちがってゆるゆるだ。みんなが思い思いの形で **A** をあじわっている。はしゃぐ男子たちの声。おしゃべりしながら廊下を歩く。窓から床に落ちた、クリーム色の日差し。

「理緒ちゃん、こっち来てから、もう一か月くらいだよ。そろそろ学校慣れた？」

わたしがたずねると、理緒は小さくうなずいた。リボンつきの髪ゴムでとめたポニーテールが、ぴよこんとはねる。

「うん。だいじょうぶ。染岡さんもいるし」

染岡さん！ この甘美なひびき！

朱理ちゃんとか、朱とか、あかちゃん、とはぜんぜんちがう。「名字にさんづけ」という呼びかたにあふれるお姉さん感よ！ わたしはあやうく泣きそうになっ
てしまう。

呼ばれるたびに。もう、ひと月近く呼ばれているけれど、いまだに。

でも、染岡さんはたよれるお姉さんなので、^①そんなそぶりは見せてられないのだ。

「そうだよ。わたしがついてるからね。こまったことがあったら、なんでも相談してね」

むんと胸を張ってそう言うわたし。理緒は **B** ふり向いて、わたしのそでを強く引いた。わたしがよろけて半歩横にずれると、後ろから男子たちが何人か走りぬけていった。

「うわ！ あ、あぶなかった！」

男子たちはけらけら笑いながら、階段をかけ下りていく。わたしはちよっぴり心臓がどきどきしていたけれど、理緒のいる手前、平気なふりをした。

「もう、六年にもなって廊下を走るなんて。子どもじゃないんだからさあ……こわかったよね、理緒ちゃん。だいじょうぶ？ けがはない？」

理緒は一瞬 **C** した顔をしたけど、すぐに笑って「うん。ありがと」と言った。

階段を下りながら、わたしは理緒に話しかける。

「ねえ、今日は放課後、なんか予定ある？」

「うーん」

理緒はこまったように笑った。「わかんない。家に帰ってみないと」

「そっかー」

わたしはなんでもないような声をつくろった。ここであらさまにがっかりするのは、ちょっと子どもっぽい気がしたから。

「いや、ほら。わたし今日も図書館に行くから、よかったら、いっしょにどうかな」

「染岡さん、図書館好きだよな」

「うん。近いしね。それに図書館って、セーヒツな感じがするじゃん。だから好き」

セーヒツって言葉がどういう意味なのか、具体的にはわからないけれど、このまえばお姉ちゃんが使ってたからわたしも使ってみた。セーヒツ。

べつによくない？ 言葉って、なんとなく使ううちに覚えていくものでしょ？ ふだん使っている言葉の意味を、ぜんぶ説明できる人なんている？

頭の中に国語辞典でもあるの？ ナポレオンなの？

「このまえば、染岡さんが読んでた本、なんだっけ。ファンタジーだよな、あの、ギターを持っている女の人が表紙の……」

「魔法使いのアルペジオ」のこと？」

「そう、それ。おもしろい？ 今度読んでみようかなって、思って」

「え、めちゃくちゃおもしろいよ！ 絶対読んで！ おすすめ！」

それから、わたしは『魔法使いのアルペジオ』に出てくる（ギター弾きの魔女・ノゾミ）の魅力をこんこんと語った。理緒は興味深そうな顔で聞いてくれた。

ノゾミはボーイッシュな女の人で、魔法使いだ。悪魔の封印こめられたギターを持っていて、それをかなでることさまざまな奇跡を起こす。

ふだん、ノゾミは駅前広場のベンチにすわって、ストリートミュージシャンのふりをしている。魔法使いのうわさを聞いて、助けを求めに来た子どもたちだけに、その正体を明かし、悪魔のギターの力で不思議な事件を解決していくのだ。

「ノゾミ、すっごくかっこいいんだー。とくに二巻で休日どろぼうと対決するエピソードとか、最高だった！ 理緒ちゃんも読んでみるといいよ！」

「休日どろぼうって？ 休みの日に働くどろぼうのこと？」

「そうじゃなくて、子どもたちの休日をぬすんじゃうどろぼう。休日をとられちゃうと、金曜日の次の日が月曜日になっちゃったりするの。サイアクだよ」

「そっかー。うち、日曜大工みたいなものかと思った」

「え？ 日曜大工って、日曜日を作る大工さんのこと？」

理緒は笑った。

「そうじゃないよ。日曜日とか、休日を使ってなにかを作ること。でも、日曜日を作る大工さんって、おもしろいね。それこそ、なんかの物語みたい」
発想をほめられたわたしは気をよくした。

「水曜日と木曜日のあいだとかに、作ってほしいよね。日曜日を」

「うーん、うちはいいかなあ」

「そう？ 一週間のまん中にもう一日お休みあると、ちょっと楽じゃん」

すると、理緒は小さく笑ってこんなことを言った。

「でも、そうしたら染岡さんにも会えないから、さびしいし」

その言葉に、わたしはもうとんでもなくうれしくなっていました。わたし、この子のために生きようって、軽く決意しちゃうくらいに。わたしに会えないとさびしいって。そんなこと、わたしだれにも言ってもらったことないよ。

「じゃあ、いっしょに日曜大工しようよ。ふたりで作った日曜日で、日曜大工するの」

「……それで、なにを作るの？」

「わかってるくせにー。D ですよ、もちろん」

理緒は笑った。わたしは調子に乗って、重々しい口調で言った。

「日曜日を作るための日曜日を作るのだ……それが日曜大工のつとめ」

「でも、それちょっとなんかむなしだね」

「わかる」

休みの日に働いて、働くための休みを作ってるってことだもんね。

人生について考えてしまいそうだ。

「ともかく、わたし、今日も図書館に行くつもりだから、もし都合がよければ、来てくれるとうれしい。でも、むりには言わないから。べつにどっちでもいいからね」

④ たくさんたくさん予防線を張るわたしに、理緒はうなずく。

「うん。ありがとう、染岡さん。いつもささってくれて」

この信じられないくらいかわいらしい理緒のすなおさときたら！

いや、もうわたしはかきずいちゃうよ。お姫さまに対する騎士のように。

⑤ あらためて理緒に忠誠をちかいながら、はじめてあった日のことを思い出さす。

問一 — A に最も適する語句を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 安心感 イ 無力感 ウ 解放感 エ 罪悪感

問二 — 部①「そんなそぶり」とはどのような様子を指し示していますか、本文のことばを用いて解答らんに続く形で答えなさい。

問三 — B ・ C に適する語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア はっと イ きょとんと ウ こくんと エ すとんと

問四 — 部②「気をよくした」の意味として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア あれこれ考えた イ 心配でいらいらした ウ うれしくなった エ 期待した

問五 — D に適する三字の語を文中より抜き出しなさい。

問六 — 部③「重々しい口調で言った」とありますが、その理由の説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 理緒の理解力のなさに腹が立ち、なぜわからないのかと非難する気持ちがあったから。

イ 理緒に笑われたことでとても落ちこみ、ひどく悲しい気持ちになったから。

ウ 自分の発言には人生についての大切な意味があることをきちんとわからせたかったから。

エ 理緒が笑ってくれたことで、たよれるお姉さんとしてさらにその場を和ませたいと思ったから。

問七 — 部④「たくさんたくさん予防線を張る」とありますが、『予防線を張る』とは、「失敗しないように前もって準備すること」という意味です。ここで理

緒が「図書館に行けない」と答えたときに、「わたし」はどのような態度をとることが予想されますか。また、そのような態度をとって失敗をしないためにどのような準備をしたのですか。それぞれわかりやすく説明しなさい。

問八 — 部⑤「理緒に忠誠を誓いながら」とありますが、『理緒に忠誠を誓う』とはどのようにすることですか。本文のことばを用いて十五字以内で答えなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

コミュニケーションという観点から伴走ばんそうについて考えるうえでまず重要なのは、「ロープ」の存在です。目の見えないランナーと目の見える伴走者は、直接体をふれ合っているわけではありません。ロープを介かして、お互いの体の動きを感じ取っています。

バンバンクラブバンの練習で長距離きんりを走る場合には、基本的にロープを輪りんっかにして使います。できた輪っか一カ所を目の見えないランナーが持ち、反対側を目の見える伴走者が持つ。この状態で二人が横に並んで走ります。

クラブに参加してみると、人によってロープに好みがあることが分かります。毛糸のような柔らかい素材を自分で三つ編みにして使っている人もいれば、靴紐くつひもを太くしたような専用の紐を使う人もいます。輪のサイズも大きいのが好きという人もいれば、拳こぶしがぶつかるほど小さくしている人もいます。持ち方も、ぎゅっと握にぎる人もいれば、小指は外して三本の指をかけて持つ人もいます。要するに、それだけのこだわりをかけるほど、

そんな思い思いのロープを使って、伴走が始まります。伴走の面白いところは、二人がロープを介してつながった状態で、長い時間、同じ動作を共有するということです。「行為いゝゐ」ではない。「動作」を共有するのです。

「行為の共有」であれば、目の見えない人が日常的に行っていることです。目の見えない人は、日々のガイドにおいて、目の見える人の肘ひじや肩かたに手を添そえて一緒に歩く、という経験をしています。

B それは単に同じ方向に向かって、同じ速度で進んでいるだけであって、動作そのものを、

C 体の動きそのものを、

* シンクロさせているわけではありません。

これに対して伴走においては、腕うでを振ふるリズム、足を出すタイミング、歩幅ほは、体の向き、といった体の物理的な動きを、ブラインドランナーと伴走者がシンクロさせています。

D 、この状態が数十分から数時間というかなりの長い時間にわたって持続する。中には五〇〇キロを超えるウルトラマラソンに挑戦するブラインドランナーもいますから、そんなときには、休憩きゅうけいをはさんで数日にわたって、二人でリズムを共有しつづけることとなります。ちなみにクラブには初心者もたくさんいますが、中にはハイレベルなベテランもいて、私がバンバンクラブに参加したときには、負荷をかけるために一本歯いっぴんの下駄げだで楽しそうに走っているペアもいました。

この長時間にわたる動作のシンクロは、ある種の「接続の安定」をもたらします。走るといふダイナミックな条件下での接続であるにもかかわらず、リズムが共有されていることによって、かえって安定するのです。走歴七年の全盲ぜんもうの女性ランナー、ドラさんは言います。

走っているときは、二人で同じ動きをしてるんです。紐ひもを持ってますけど、腕うでが触ふれそうな状態で同じ動きをしていますよね。日常生活では、あっち向いたりこっち向いたりしているし、こちらも、次は車に乗るんだな、とか先にある行動を予想しながら動いています。ランニングだと、予測しなくてもずっと同じ動きを続けられる。

これは、ひとことでは「現在」に集中しやすい、ということでしょう。日常生活においては、次何をするのかな、もうそろそろかな、と「先読み」しながら動くのが通例です。特に目の見えない人の場合は、予測をしていないと、相手は階段を上ったのに、それを知らされずに自分だけつまずいてしまう、なんていうことが起こりかねない。予測することで、相手の運動と自分の運動がずれてしまうリスクを減らすことができるのです。

これに対して、伴走は、同じ「走る」がひたすら続いていきます。そこには、「歩いて、止まって、座る」のような行為の分節はありません。すると、「次」に対する予測のスイッチを切ることができる。「どうなるんだろう」という過剰な E は無用です。

もちろん、これは何も感じないということではありません。むしろ、予測が不要だからこそ、走るという行為の中で起こっている微細な変化について、感度を高めることができる。未来ではなく、現在に集中しやすくなっています。

言うまでもなく、この「現在への集中」は、「信頼」の問題と密接に関係しています。信じているからこそ、「どうなるんだろう」という予測スイッチを切り、「伴走者といっしょに走る」という行為に身を任せることができるからです。

私もアイマスクをして伴走者と走る体験をしたときには、とてつもない恐怖と不安で、最初は足がすくんでしまいました。伴走してくれたのは大のベテランだったのですが、一歩踏み出そうとするたびに、^①足元に段差が「見え」たり、目の前に木の枝が「見え」たりするのです。もちろん、アイマスクをしているので、物理的に何かが見えているわけではないのですが、おそらく予測モードが過剰に発動していたのでしょう、段差や木の枝が「ある」ように感じていました。

でもある瞬間、実際には走り始めてほんの数分のうちに、こうした不安と恐怖は私から離れていきました。そのときの感覚は、「大丈夫だ」と確信できたというよりは、「ええい、どうにでもなれ」とあきらめて飛び込む感じに近かったように思います。まさに不確実な要素があると自覚しながらも、ひどい目にあわないだろうと「信頼」した瞬間でした。

伊藤亜紗『手の倫理』より（本文より前の部分を示す語や見出しを削除した。）

* 伴走……いっしょについて走ること。

* バンバンククラブ……東京を中心に活動する、目の見えないランナーと伴走者のための共同体。

* シンクロ……時間的に一致させること。

* ブラインドランナー……目の見えない走者。

* ダイナミック……動的。

問一 A に最も適する語句を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ロープが多すぎる イ ロープは入手しやすい ウ ロープが高価だ エ ロープが重要だ

問二 部①『行為』ではない。『動作』を共有するのです」とありますが、『行為』と『動作』についての説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 『行為』は同じ方向に向かって進むことであり、『動作』は同じタイミングで足を出すこと。
イ 『行為』は同じ方向に向かって進むことであり、『動作』は同じ速度で進むこと。
ウ 『行為』は同じリズムで腕を振ることであり、『動作』は同じ歩幅で歩くこと。
エ 『行為』は同じリズムで腕を振ることであり、『動作』は同じ速度で走ること。

問三 B 〽 D に適する語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし イ しかも ウ つまり エ まず

問四 E に最も適する四字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 試行錯誤 しこうさくご イ 疑心暗鬼 ぎしんあんき ウ 一進一退 エ 喜怒哀楽 きどあいらく

問五 部②「足がすくんで」の意味として最も適するものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 力の続く限り歩いて イ 楽な姿勢でくつろいで ウ 体がこわばり動けなくなつて エ ある方向へ向かって

問六 部③「足元に段差が『見え』たり、目の前に木の枝が『見え』たりするのです」とありますが、これを説明した次の文の a ・ b に適する二字の語を、それぞれ文中より抜き出しなさい。

実際には足元の段差や木の枝が a ているのではなく、b ように感じたということ。

問七 ブラインドランナーが伴走者と走ることによって「現在」に集中しやすい理由を、『先読み』、『信頼』の二語を必ず用いて、わかりやすく説明しなさい。

三 次の——部の読み方がほかとは異なるものをひとつずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|---------|--------|--------|--------|---|
| 1 | 【ア 案外 | イ 外科 | ウ 外交 | エ 外資 | 】 |
| 2 | 【ア 引率 | イ 率先 | ウ 率直 | エ 能率 | 】 |
| 3 | 【ア 収納 | イ 納税 | ウ 納得 | エ 納付 | 】 |
| 4 | 【ア 規模 | イ 模型 | ウ 模写 | エ 模様 | 】 |
| 5 | 【ア 一服盛る | イ 盛り返す | ウ 土を盛る | エ 燃え盛る | 】 |

四 次の——部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 秋はとかくカ|ンシ|ョウ|ウ|的になりやすい。
- 2 温暖化についてコ|ウ|エ|ン|する。
- 3 航路の安全をホ|シ|ョ|ウ|する。
- 4 まわりからオ|サ|レ|て立候補する。
- 5 布地をタ|ツ|。



